

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： 寿生の丘

施設種類： グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設(該当に○)

日時： R7年 2月 21 日 14 時 ～ 15 時

会場： ケアハウス寿生の郷 会議室

出席者： (人数)	利用者代表	2 人	駅前交番職員	0 人
	利用者家族	2 人	高齢者あんしん支援センター職員	1 人
	地域住民の代表	0 人	出雲市職員	1 人
	その他(GH管理者・GH係長・DS 管理者・総務部長・保育園園長)			5 人

(議題)

- 1：事業（活動）報告
- 2：R6 年度外部評価
- 3：意見交換

1. グループホーム管理者より事業（活動）報告

(1) R6 年度第 5 回開催以降の活動報告等

- ・月行事（花火観賞、クリスマス会、豆まき、誕生会）、日課、日々の活動、ドライブ（花の郷方面、斐川公園、自宅巡り）、買い物など
- ・入退所状況：2 名退所
 - ・90 歳女性 要介護 2 の方：心不全にて入院、GH 対応困難にて退所（1/31）
 - ・91 歳女性 要介護 2 の方：食欲不振、ADL 低下あり入院、GH 対応困難にて退所（2/17）
- ・内部研修：高齢者虐待防止、身体拘束について（1 月）
- ・外部研修：特になし
- ・インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症について：発症はなし。面会も変わらず予約制（15 分 2 名）
- ・その他：グローバル実習生受け入れ

・ヒヤリハット・事故報告について（11月～2月）

・発生時間について、前は朝方多かったと報告したが今期間は時間にバラツキがあった。内容として、便座がない状態でトイレをしていた、薬の服用忘れ、シーツ交換後ベッドの高さを下げなかった、しりもちをつく、歩行途中で膝折れがあり座り込んだ、押し車なしでの独歩、手に付けたハンドクリームを口に運ばれた、離設としてスロープからとベランダからと2件あった、夜間ベッドから仰向けに落ちた、トイレ内転倒、薬が床に落ちていて誰のものかわからないなど。対策を立て今後も気を付けていきたい。

(2) 入所者状況報告（1月31日現在）

[入所者 17名（男性 0名）（女性 17名）][年齢 85～100歳]

2. R6年度外部評価について：運営推進会議で話し合ったこと、いただいた意見についての報告

3. 意見交換

(GH 家族)

広報を見ていろいろ行事に参加しているようで家族としても喜んでいる。

(あんしん支援センター)

ソファを置いて外を眺めたり良い環境作りをしていると思う。

(総務部長)

職員は手薄だったがなんとかお世話できている。入居も最近までは満床だった。出来るだけ入ってもらうようにと思っている。以前は残業が多かったが職員が揃ってきた。シルバー人材センターでも介護で勤めたい人がいるのでグループホーム、特別養護老人ホームでも短期間勤めてもらっている。職員は一生懸命勤めており今後も続けてほしい。会議の場でいろいろ指摘してもらえればさらに良くなると思う。

(保育園園長)

保育園も自己評価があり迷うこともある。評価内容は実際はわからないが、この会議で出られている利用者が語られる感想が一番個々の運営を表している。その言葉を聞いて良い運営をしていると感じている。利用者の方は信頼して利用していると感じる。今後も続けてほしい。

(GH 利用者)

うちのところは頭のしっかりした人が多い。わからないということが少ないから私も楽です。これからはわかりませんが。

(市役所)

自己評価の C (あまり出来ていない) という項目に注目した。職員への対応に関すること、地域とのつながりに関することの 2 個ある。2 つの柱で今後少しずつ努力してほしい。

(DS 管理者)

外部評価 19 のところ。事業所の多機能化について。DS に PT がいるので先日も GH から利用者の歩行状態を見てほしいと依頼があった。DS とも連携し入居の方ともかかわりを持ち、より良い支援に繋がっているのはありがたい。コロナ以降職員同士の交流も出来ない中、DS 職員が役に立てているのがうれしい。今後のモチベーションにもなる。

以上